

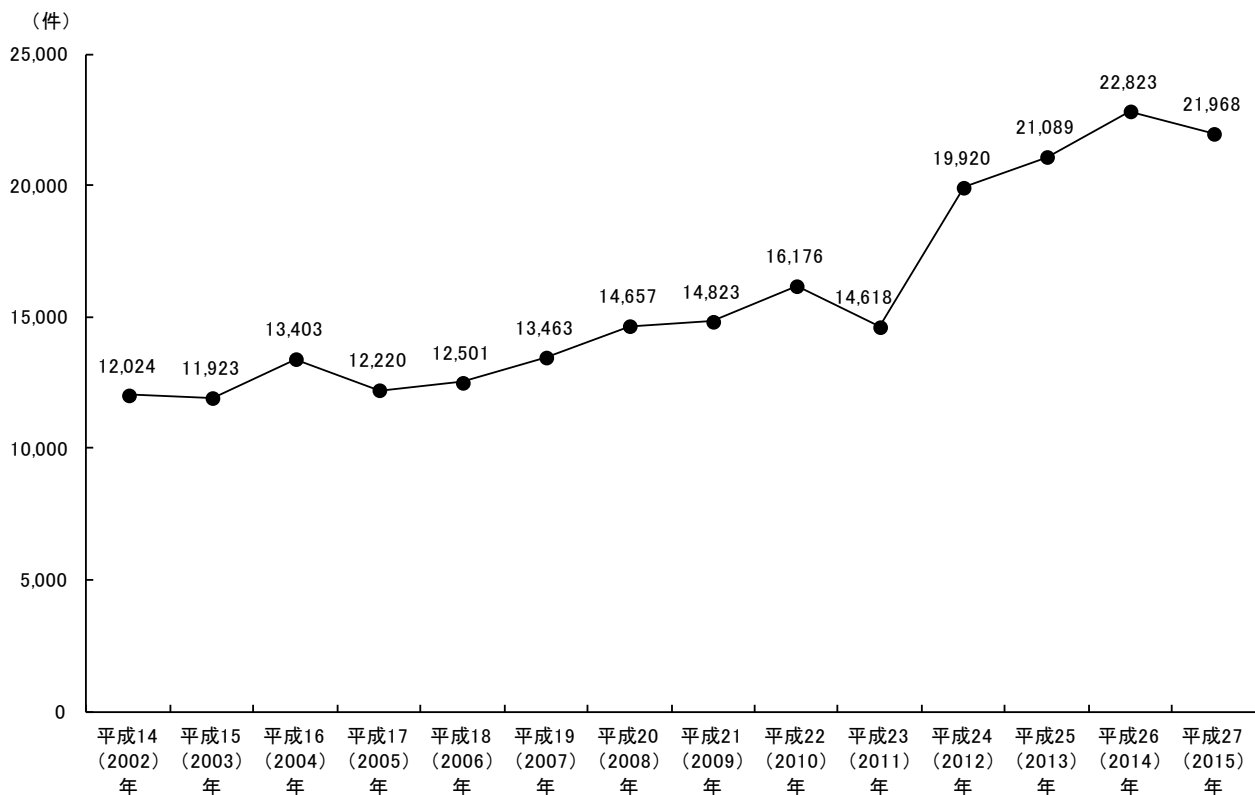
IV 人権が尊重される社会の形成

IV-2 性暴力ストーカー等の防止

1. ストーカー事案の認知状況

警察が認知したストーカー事案の件数は、平成 23 (2011) 年 (14,618 件) 以降増加しており、平成 25 (2013) 年は 2 万件 (21,089 件) を超え、平成 27 (2015) 年は 21,968 件となっている。

図表IV-2-1 ストーカー事案の認知件数の推移 (全国)



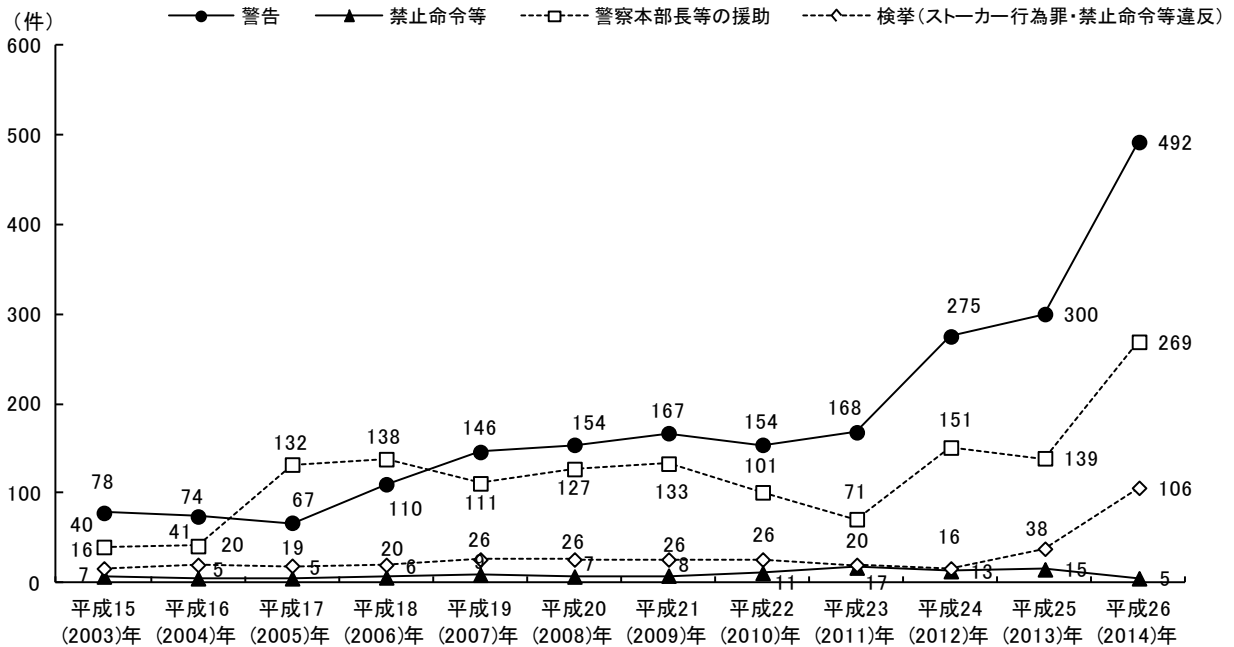
注：認知件数には、執拗なつきまといや無言電話等のうち、ストーカー規制法やその他の刑罰法令に抵触しないものも含む。

資料：警察庁「平成 27 年中のストーカー事案及び配偶者からの暴力事案の対応状況について」

2. ストーカー規制法の適用状況

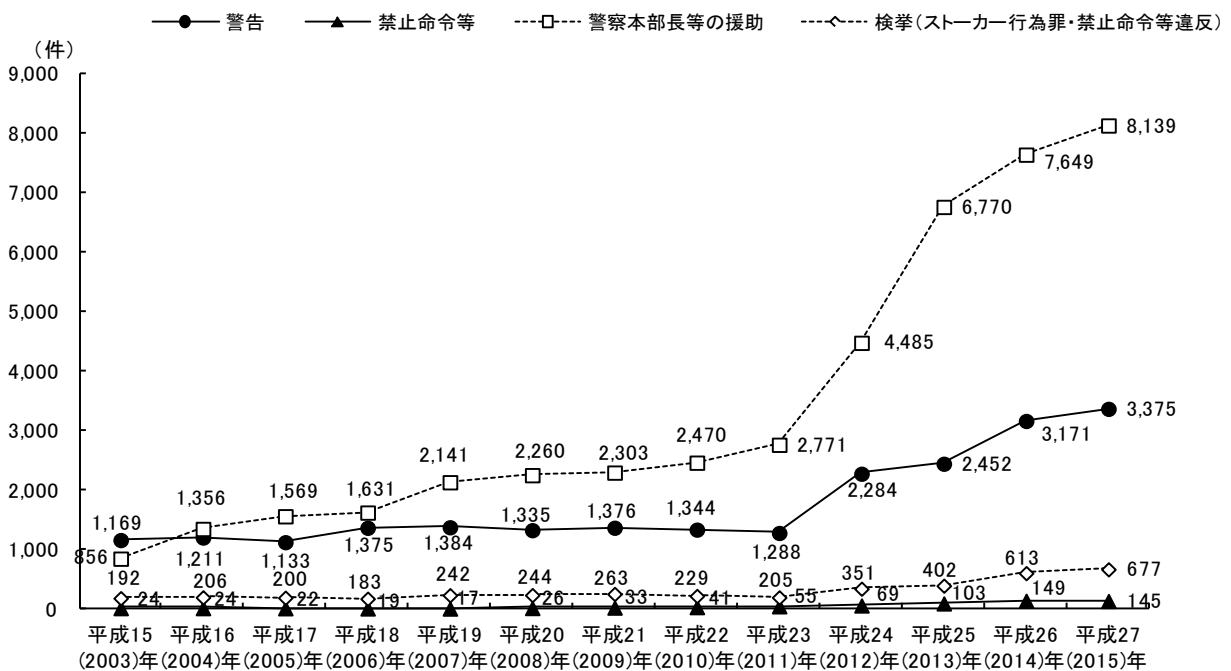
ストーカー規制法の適用状況をみると、都では平成 26 (2014) 年には「警告」が 492 件で最も多く、次いで「警察本部長等の援助」が 269 件であった。全国では平成 27 (2015) 年には「警察本部長等の援助」が 8,139 件で最も多く、次いで「警告」が 3,375 件であった。

図表Ⅳ－２－２ ストーカー規制法の違反等措置状況の推移 (都・全国)
 <都>



資料：警視庁「警視庁の統計(平成26年)」

<全国>



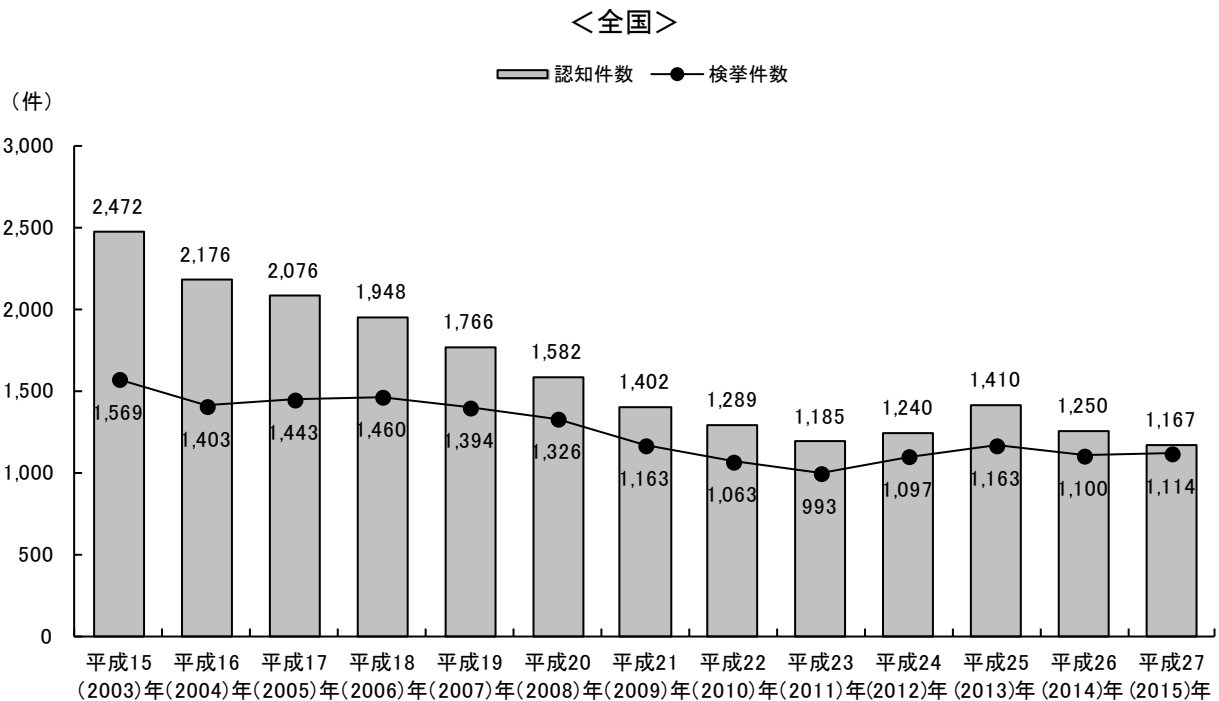
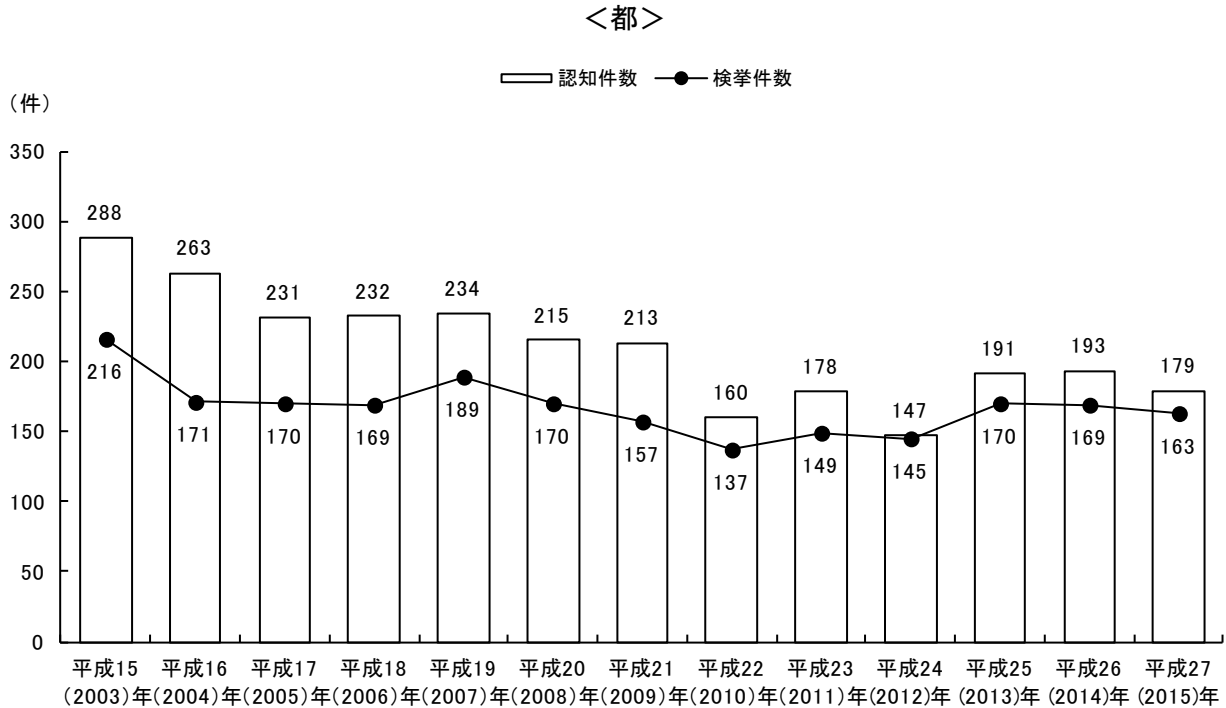
資料：警察庁「平成27年中のストーカー事案及び配偶者からの暴力事案の対応状況について」

IV 人権が尊重される社会の形成

3. 強姦、強制わいせつ事件の認知件数及び検挙件数

平成 27（2015）年の強姦事件の認知件数と検挙件数は、都では認知件数が 179 件、検挙されたのは 163 件である。全国では認知件数が 1,167 件、検挙されたのは 1,114 件である。

図表Ⅳ－２－３ 強姦事件の認知件数と検挙件数の推移（都・全国）

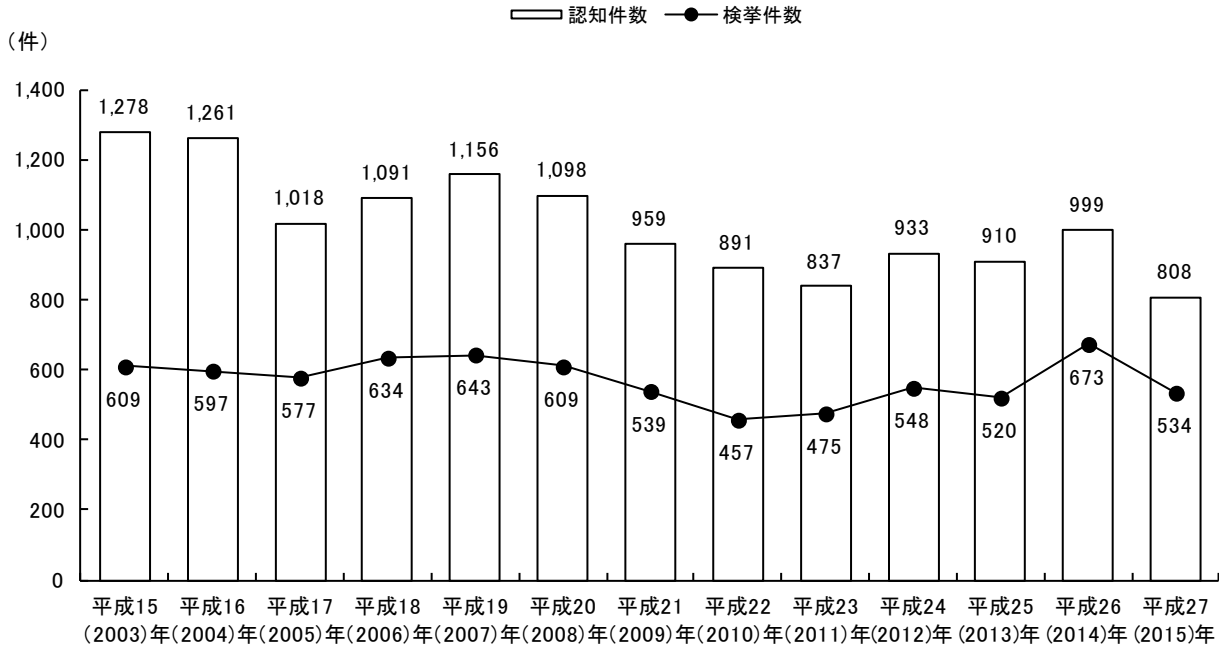


資料：警察庁「犯罪統計資料」（平成 27 年）

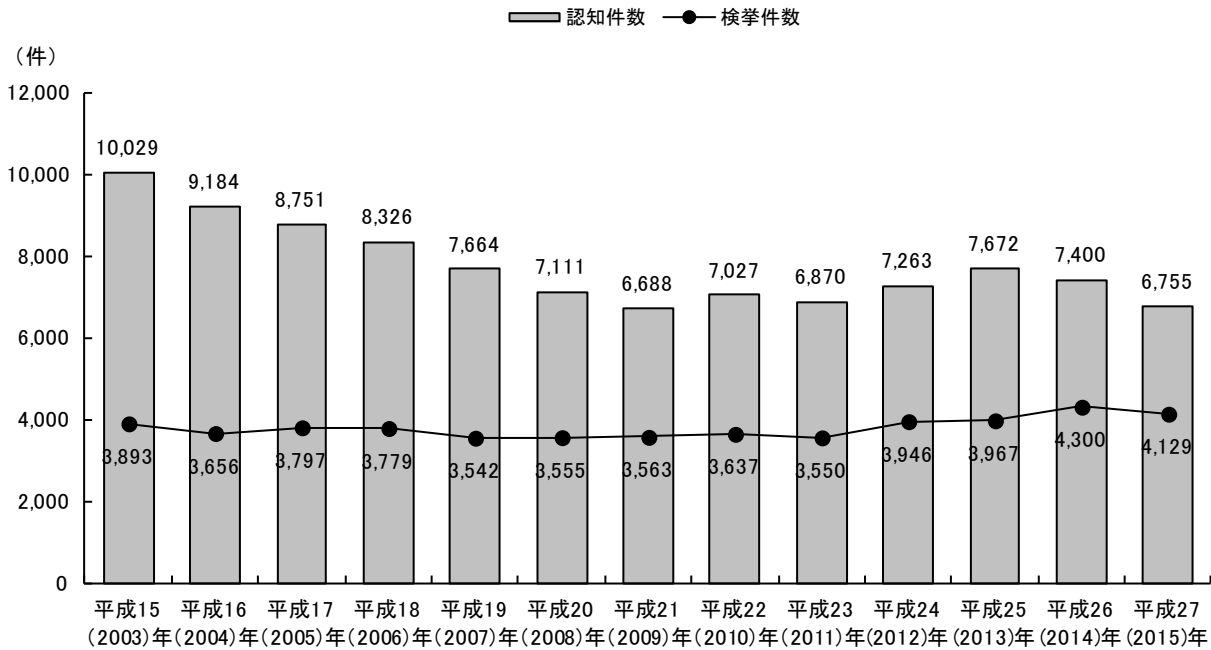
平成 27 (2015) 年の強制わいせつ事件の認知件数と検挙件数は、都では認知件数が 808 件、検挙されたのは 534 件である。全国では認知件数が 6,755 件、検挙されたのは 4,129 件である。

図表Ⅳ－２－４ 強制わいせつ事件の認知件数と検挙件数の推移 (都・全国)

<都>



<全国>



資料：警察庁「犯罪統計資料」(平成 27 年)